

**環境省 廃家電の不法投棄11.6%増  
回収業者の不投が要因**

環境省によると、昨年度に全国で不法投棄された廃家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)の台数は13万3207台で、前年度より11.6%増加した。03年度以来6年ぶりに増加に転じた。違法な不用品回収業者による不法投棄の発生

が増加の一因とみられる。同省では、地方環境事務所による違法輸出入防止、不用品回収業者の実態調査、自治体に立入検査の遂行を求める通知を发出するなどの対策を進める。

地上デジタル放送への移行や家電エコポイント制度などで買い換え需要が増したフラウン管式テレビが4品目合計の64.6%を占め、前年度の不法投棄台数から約17%の増加となった。エアコンは4品目合計の1.9%、液晶・プラズマ式テレビが0.3%、冷蔵庫・冷凍庫が20.8%、洗濯機・衣類乾燥機が12.4%だった。

廃パソコン(デスクトップパソコン、ブック、ディスプレイ)フラウン管式、液晶式)の不法投棄台数は、5256台で、前年度と比較して2.8%の増加となった。